

Energy efficiency NEWS FLASH

(作成: SEAJ エネルギー効率利用専門委員会 独自の見解を含んでおり、内容を保証するものではありません。参考情報としてご利用下さい)

1) 件名

シンポジウムを開催「カーボンニュートラルの具体的な取り組みと将来の技術動向」

2) 内容

2023年3月17日 カーボンニュートラルのシンポジウムを開催しました。

議題「カーボンニュートラルの具体的な取り組みと将来の技術動向」

サブタイトル: 今できる取り組みのスタートの仕方 と課題の議論

2023年3月17日にカーボンニュートラルのシンポジウムを会場とWebのハイブリッドで開催しました。

40社95名が参加し、先行企業の具体的な取組みを学び、電力会社の取り組みとエネルギー専門家による俯瞰した考察を元に、白熱した議論を展開しました。

2部構成になっており、まず第1部の主旨は「具体的先行事例の学習」であり、SCREEN様に半導体製造装置初のライフスタイルにおけるLCCO₂算出の取り組みの講演をして頂きました。長瀬産業様と共同の活動であり、企業間の協力は今後不可欠になる中で非常に興味深い取り組みです。

第2部は「課題討議」です。カーボンニュートラルに向けた課題は多様であり、目を背けずに把握して討論する主旨です。東京電力エナジーパートナー株式会社様にカーボンニュートラル実現に向けた電力セクター取り組みの講演、そして地熱技術開発株式会社様にカーボンニュートラルがなぜ登場したのか今後世界の考察をして頂きました。第2部は総論的ですが最新情報と課題に対して専門家ならではの実情踏まえた白熱した議論を行いました。

3) SEAJ コメント

エネルギー効率利用専門委員会のシンポジウムは講演者交えた討論会に重きを置いているのが特徴です。今回のシンポジウムを開催し「本音トーク出来る討論会」の開催継続する方針の継続の決意を新たにしました。参加者の期待も大きく来年も開催予定です。また、シンポジウム主旨は気づきを得る事であり、本委員会は以前から本質を見据えた地に足の着いた取り組みを提言しています。基本は「省エネは死語ではなく、全体最適の視点が必要な事。そして温室効果ガスは排出抑制する事が基本としていました。この基本をベースに昨今の動向を踏まえた対応が必要と考えます。

4) 添付情報・資料

無し

5) 関連情報

無し

6) その他

—以上—